

■藤原忠通 公卿。父忠実と弟頼長への対立が激化し、保元の乱契機となった。

ふじわらのただみち

・ ・ ・ ・ ・ 1097＝ 右大臣源顕房の女を母に、 摂政藤原忠実の子に生まれる。

・ ・ ・ ・ ・ 1106＝ 9歳：

白河院政確立1107＝10歳： 正五位上に叙され、
侍従・右少将・右中將を歴任、

大鏡・ ・ ・ ・ 1110＝13歳： 従三位。

・ ・ ・ ・ ・ 1111＝14歳： 権中納言・ 従二位。

・ ・ ・ ・ ・ 1115＝18歳： 権大納言を経て、内大臣に任ぜられる。

藤原忠通関白1121＝24歳： *父忠実罷免の後を受けて関白となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1122＝25歳： 左大臣従一位に進み、

・ ・ ・ ・ ・ 1123＝26歳： 崇徳天皇の践祚によって摂政となり、

・ ・ ・ ・ ・ 1124＝27歳：

藤原清衡没・ 1128＝31歳： 太政大臣に任ぜられ、

鳥羽院政始・ 1129＝32歳： 関白となる。この年、白河法皇が崩御し鳥羽上皇が院政を始めて、父忠実が政界に復帰し、

武家内昇殿始1132＝35歳： *父忠実が内覧となるに及んで、関白・内覧が並立し、両者の権力争いが激化した。

忠盛宋船横領1133＝36歳：

崇徳天皇譲位1141＝44歳： 近衛天皇の践祚によって再び摂政となる。この間父忠実は、弟頼長を家嫡にしようと謀ったが、忠通は美福門院と結び、鳥羽法皇の信任を得た。

・ ・ ・ ・ ・ 1142＝45歳：

頼長氏長者・ 1150＝53歳： 再び関白となる。この年、父忠実に関白の譲渡を拒否したため、氏長者の地位を頼長に奪われ、

頼長内覧・ ・ 1151＝54歳： *頼長が内覧となるに及んで、再び関白・内覧が並立した。

保元の乱・ ・ 1156＝59歳： 鳥羽上皇の崩御後、保元の乱で崇徳上皇・頼長方を倒し、宣旨によって氏長者に復し、

後白河院政始1158＝61歳： *二条天皇の践祚を機に辞して嫡子基実に譲り、別業法性寺に引退して、

平治の乱・ ・ 1159＝62歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1160＝63歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1162＝65歳： 法性寺で出家、

・ ・ ・ ・ ・ 1164＝67歳： 没した。

法性寺殿と称され、日記を「法性寺関白記」、歌集を「法性寺関白御集」という。